



■製品について

- 注意点（本製品は天然素材を使用しているため、下記の項目の特性があります。
 - ①経時変化に伴い色の変化が生じる場合があります。特に生成色・柿渋は経時変化による色合いの変化が顕著な場合があります。
 - ②色調・風合いなどにおいて、原材料に起因するばらつきが生じる場合があります。
 - ③カタログの印刷された写真と実際の製品とでは、色・質感において異なる場合があります。
 - ④製品の仕上がり寸法には、多少の誤差が生じる場合があります。
 - ⑤商品は伸縮が発生する場合があります。詳しくは、下記の●製品の伸縮の項をご覧ください。
 - ⑥すだれは湿度に弱くカビが生える場合があります。カビが発生しやすい場所ではご注意ください。詳しくは、下記の●カビの項をご覧ください。
 - ⑦製品が汚れた場合はハタキ等でほこりを落としてください。決して水分を含んだタオルなどで拭かないでください。
 - ⑧本製品には特有のにおいが発生する場合がありますが、これは主原料である天然素材と染料のにおいによるためで、人体に害を与えるものではありません。このにおいは経時変化に伴い薄れていきますが、気になる場合はできるだけ換気をしていただくことをおすすめします。
 - ⑨商品が湿った場合にもにおいが発生する場合があります。気になる場合は、天気の良い日に干していただくとう効果的です。
 - ⑩商品に異常が見つかった場合は、ただちに取り外してご使用をお止めください。
 - ⑪高温多湿・ストーブなどの火のそば・加湿器の周辺ではご使用にならないでください。
 - ⑫本製品は屋外用ではありません。軒下などの半屋外(常時、雨風に晒されないような環境)で使用される場合は、ES-62、ES-64、ES-31をおすすめします。
 - ⑬本製品の仕様・価格・意匠は品質改良や物価の変動などにより予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ⑭カタログに記載されている表示価格は、消費税を含まないメーカー希望小売価格です。取付費・工事費などは含まれておりません。

- ＜ES-62、ES-64、ES-31を軒下などの半屋外で使用される場合＞
 - ・巻上式は操作に支障をきたす場合がありますので、室内用としてお考えください。
 - ・経時変化による損傷などは、室内使用に比較して早くなります。予めご了承ください。
 - （カビの発生、金具などのサビ、染料・ベンガラ・柿渋・焼杉などの抜け・はがれ、水に濡れてしまうと汁垂れなどが発生する場合があります）
 - ・台風や雨風の強い時などは、必ず製品を取り外して安全な場所に保管してください。商品も長持ちします。
 - ・商品の取付にはサビなどに強い金具や番線などを用意してください。商品を確実に固定し、金具・取付場所・商品の劣化などの定期点検を実施してください。
 - ・高所への取付は避けてください。また商品の取付位置は、商品が落下などをしても安全が確保できるかどうかを十分に検証してください。

- 製品の伸縮
雨が降ったり湿度が高い時は、生地・編糸に水分が含まれることで膨張し、すだれを持ち上げてしまいます。これが縮む現象となり、特に梅雨の時期にはこのような現象が顕著に現れます。逆によく晴れた乾燥している時は水分が抜け、生地・編糸が収縮し、伸びる現象がおきます。基本的に夏場は縮み、冬場に伸びるという現象が生じやすいと考えることができます。ただし、すだれの設置場所の環境によっても左右される場合が多く、夏でも乾燥している場所であれば伸びて、冬でも湿度の高い場所では縮む場合があります。特に条件の激しい場合は、一日の朝晩でも丈の長さが変わってきます。他に商品の到着後は梱包時の＜折り癖＞によって、高さが多少短くなっている場合があります。巻上式などの昇降式や、固定式のオプションの丸鈎などで長い間上げた状態の場合も＜折り癖＞によって高さが多少短くなっている場合があります。（※状況により多少異なる場合があります。）すだれは、最終的には丈が約2～5％程度伸びていく方向にあります。当社はmm単位からのオーダーをお受けしておりますが、天然素材を使用したすだれ特有の性質により、指定サイズの誤差が生じる場合があります。すだれの丈ノビにつきましては、出荷時より一年以内であれば、当社に送って頂けると無償で丈調整させて頂きます。（※50mm以上伸びた場合に限ります。送料別途・工場での修理対応となります。現場での対応は出来ませんのでご了承ください。）

以上の理由から、「すだれは伸縮し変形しやすい」「すだれの右側と左側とで丈が異なる」「弓状に反る」など、年間を通じて安定することは非常に難しい性質を持った製品といえます。そのため、巻上式などの昇降式では「巻きすれ」、製品全般では、「ゆがみ」・「ねじれ」などが生じる場合があります。

- カビ
製品は湿度に弱く、カビが一番の天敵です。カビとは菌類の一群で孢子で増殖します。製品は木製・竹製の他に、蒲芯・御形・よし等の植物から製作します。これらの天然素材には、カビが生える危険性があります。特に、雨のかりやすい軒下・縁側・窓際・台所廻り・お風呂場などでは、発生度が高くなります。

＜カビが発生した場合＞ ①ブラシでやさしくカビを払い落とします。 ②製品を風通しの良い場所で、3日間程陰干しします。 ③防カビスプレーを吹き付けると効果的です。（変色に注意）	＜カビが発生する3つの条件＞ ①温度20℃以上（5～35℃で発育し、28℃を超えると繁殖が盛んになります） ②湿度60％（80％を超えると、すぐに増殖します） ③栄養分 …上記の条件に注意してください。
---	---

※カビの発生しやすい場所で使用される場合は、定期的上記の事項を参考にメンテナンスを行ってください。カビの発生の予防になります。ただし、本製品にカビが発生した場合には保証の限りではありません。

- 運賃/配送
運賃は別途必要となります。（現場宛、個人様宛、一部地域、指定便は対応できない場合があります。詳しい内容については、お問い合わせください。出荷日には責任を持ちますが、着日につきましては当社では責任を持ってませんので、納品には余裕を持ってくださるようお願いいたします。

- 保証期間
商品の到着後、直ちに製品の数量・仕様及びキズ・破損等を必ずご確認ください。天然素材本来の自然なキズなどは、ご容赦ください。万一・損傷がある場合には、到着後1週間以内にご連絡ください。この期間以降のクレームはお受けできない場合がありますのでご了承ください。商品の保証期間は工場出荷日より1年間です。この期間中に製品の欠陥により損傷が生じた場合には、無償にて修理させて頂きます。（※消耗品は除く。）修理につきましては、工場への返品・工場での修理対応になります。現地での対応は出来ませんのでご了承ください。これ以外については、実費にての修理となります。また、以下の条件に起因する場合については、当社はその責を負いかねます。

- ①直射日光・自然環境・経時変化・特殊環境・冷暖房等の電気製品などによる変形・変色。
- ②納品後の移動・輸送、不適切な取り扱いや、不注意により生じた破損・故障。
- ③特注加工品。

お願い すだれの伸縮・カビの発生などに関しましては、天然素材を使用しているすだれ特有の性質として、皆様にご理解頂きたくお願い申し上げます。



警告

各昇降式の操作コードや、オプション金具のチェーンやテープ・紐・鈎丸・鈎などが体に巻きついたり、手足に引っかかるようなことをしないでください。思わぬ事故の原因となる恐れがあります。特にお子様が首をかけないように、十分ご注意ください。



体にまきつけないでください



引っ張らないでください



本製品の防災品番は下記の通りです。

べんがら：ES-11～13
柿渋：ES-20・21
焼杉：ES-31
木すだれ：ES-25・26



本製品のインテリアファブリックス性能評議会のホルムアルデヒド放散速度自主基準値を満たしたF☆☆☆☆認定品は、下記の通りです。

べんがら：ES-11～13
柿渋：ES-20・21
焼杉：ES-31
木すだれ：ES-25・26



井上スグレ株式会社

〒586-0086 大阪府河内長野市天野町1014-1 TEL 0721-53-2581 FAX 0721-54-6506 <https://www.sudare.co.jp>

すだれ資料館 TEL 0721-53-1336 FAX 0721-54-6506 <https://www.sudare.com>

2025.6.S



いにしえ
のきすだれ
inishie

ISUCO

「いにしえ」カタログ Vol. 05

いにしえ

のきすだれ
inishie

いにしえ
古の町並みの家屋の軒先には簾が自然と垂れ下がり、
玄関の格子戸や柱などは古くから手入れされた艶と
深い風合いが感じられる塗が施されています。
漆喰壁の白と柱や格子の深い色が絶妙なコントラストを
作る時、なんとも言えぬノスタルジックな世界へ
誘ってくれます…。
「いにしえ」はこんな情景をイメージして
先人達の知恵や技を存分に取り入れた「のきすだれ」です。

ベンガラ べんがら／Bengala

インドのベンガル地方で産出したことに由来する
とされ、鉄が酸素と結合して生じる酸化鉄を主成分
とした人類最古の顔料といわれています。
耐候性・耐光性・耐熱性に優れ生物にも無毒・無害
とされてきました。古来日本では、貴い色、神聖
なる色として天皇家、皇族、貴族に好まれ神社仏閣
では盛んに用いられました。
他にも用途は多様で主に建築物の外装に塗装されて
いました。

柿渋 かきしぶ／Kakishibu

柿渋は、未熟な青い渋柿を压榨し発酵させ熟成さ
せた液体で、タンニンを多量に含んでいます。
古来より、繊維の染色や和紙、木製品などの防水、
防腐効果を高めるために使用されていました。
特に、農漁村の生活必需品として、江戸時代には
柿渋の需要が拡大し各地で生産されるようになりました。
漁網の強化や漆器の下地や団扇和傘、
酒袋、伊勢型紙の地紙製造に利用されてきました。

焼杉 やきすぎ／Yakisugi

昔から日本家屋の外壁に利用されてきた焼杉は、
独特の加工により、耐候性・耐防腐性の高い材料
とされてきました。
当社では焼杉の加工を染色ではなく、摂氏1000度
以上の高温で炭化させ、金ブラシで仕上げること
により、木目を黒く浮き上がらせ独特な雰囲気
を醸しださせています。
現在では建築材料の他、調度品などにも利用され
ています。

ベンガラ

べんがら／Bengala



ES-12 / 巻上式

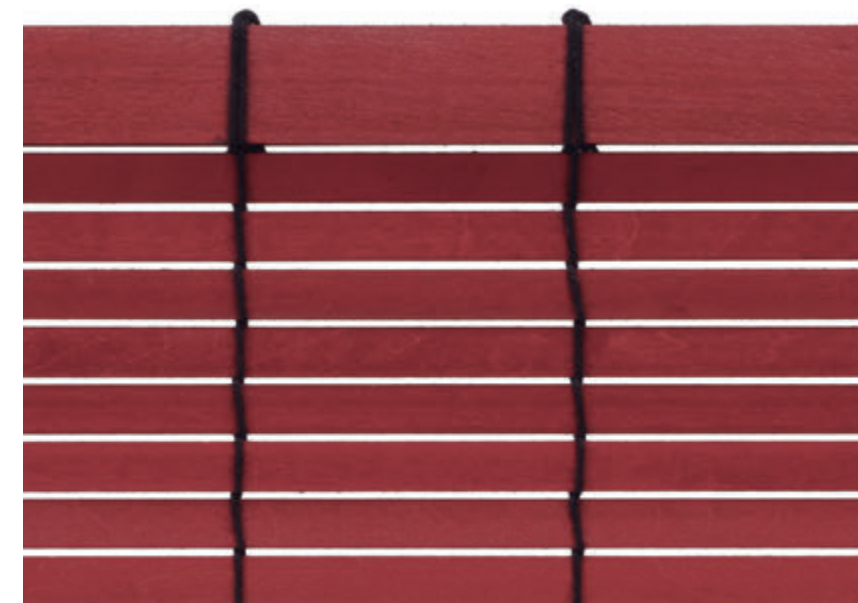


インテリアに大きなアクセントが加わりました。
ベンガラという天然塗材をいかした、
空間に優しい表現です。
開口部の光の調整具として、また空間の隔たりとして
多機能に空間をデザインします。
いにしえの「ベンガラ」は
鮮やかな色調と古き良き風合いを簾に表現しました。

ES-11 / 巻上式

ES-11 / エンジ

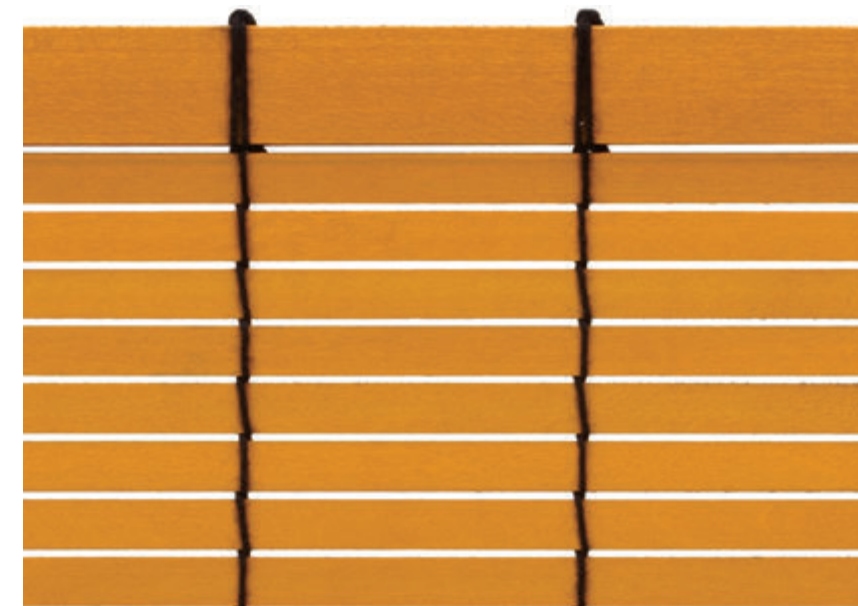
※旧 ES-101



(スラット：11mm)

ES-12 / カラシ

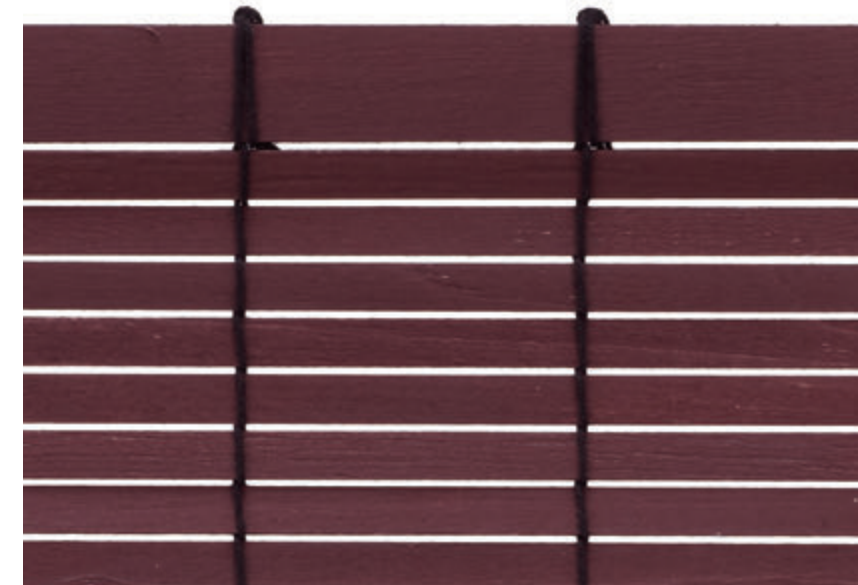
※旧 ES-102



(スラット：11mm)

ES-13 / ブドウ

※旧 ES-103



(スラット：11mm)

※E S-11～13は、在庫限りの販売となります。
ご検討前に在庫のご確認をお願いします。

柿 渋

かきしぶ／Kakishibu

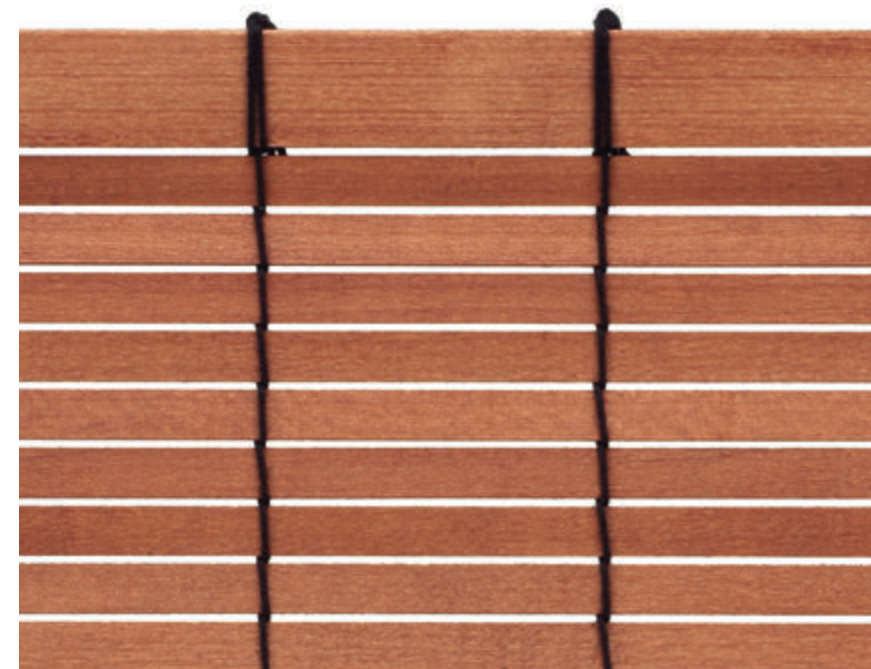


ものは、時と共に変化する、それが形であれば使い込んだ味になり
色であれば時代を感じさせる艶を醸しだします。
「柿渋」の深い色合いが時間と共に馴染んでいき
優しい空間を演出します。
いにしえの「柿渋」は
深い色合いの変化を楽しめる簾としてつくりあげました。

ES-21 / 固定式
(室内から)

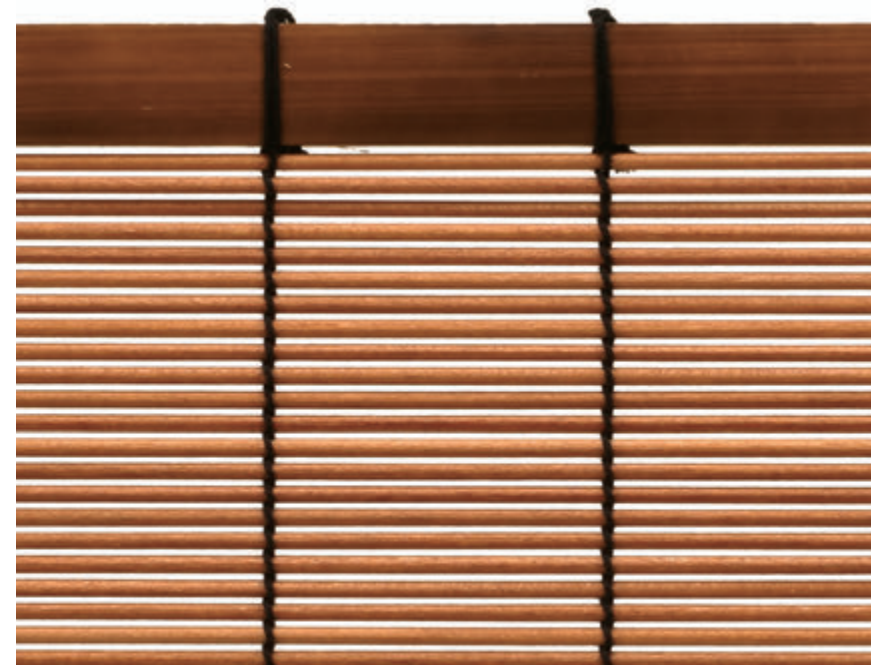
ES-21 / 固定式
(屋外から)

ES-20 / カク
※旧 ES-201



(スラット：11mm)

ES-21 / マル
※旧 ES-211



(丸ヒゴ：ø4mm)



焼 杉

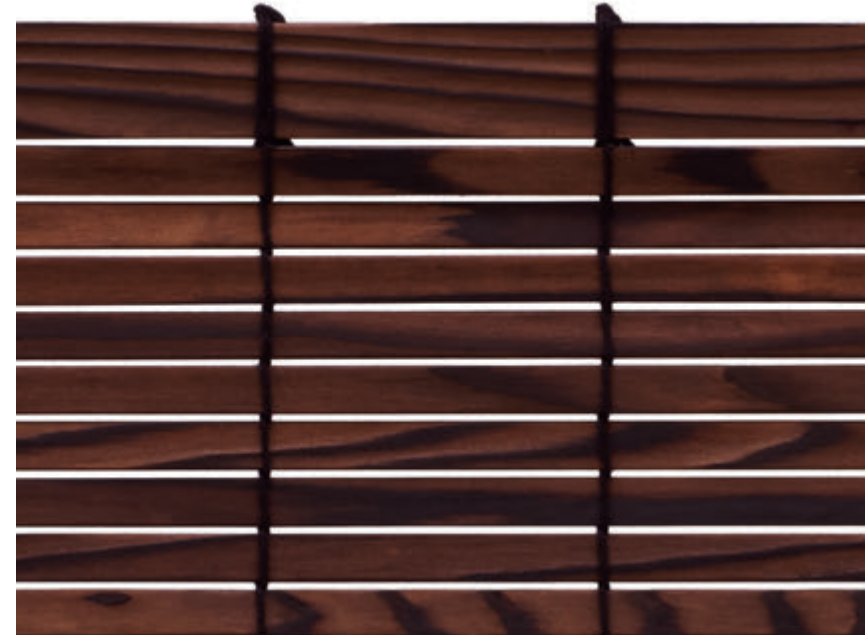
やきすぎ／Yakisugi



ES-31 / 固定式
(屋外から)

浮き立った木目が自然といにしえの時へと誘ってくれます。
昔ながらの技法には無駄がありません。
古き良きたたずまいには勿論のこと、現代建築における空間にも
その存在感は、インテリアとして自由に演出していただけます。
いにしえの「焼杉」は
懐かしい反面どこか新しい感覚が蘇る簾として形づけました。

ES-31 / 焼杉
※旧 ES-301



(スラット：11mm)



ES-31 / 固定式
(室内から)

木すだれ

もくすだれ／Moku Sudare



ES-26 / 巻上式

天然木を精製しシャープなラインを強調しました。

スタイルとその風合いはいにしえの薫りが漂います。

開口部はもちろんのこと、

インテリア空間のレイアウトを柔軟に変化させるためのパーティションとしても

十分なデザイン性と機能性を発揮します。

いにしえの「木すだれ」は

多様性を求める現代のインテリアデザインににふさわしい簾です。

ES-25 / 生成

※旧 ES-525



(丸ヒゴ：ø4mm)

ES-26 / 茶

※旧 ES-526



(丸ヒゴ：ø4mm)

蒲芯 御形 よし
がましん／Gamashin ごぎょう／Gogyo よし／Yoshi



ES-64 / 固定式



「のきす」という伝統的な形は素材にもこだわります。
素材そのものが「いにしえ」へと誘ってくれます。
涼し気で光を柔らかくとり入れ、
外部と室内を自然に隔てます。
落ち着きのあるインテリアこそこうありたいと、
願ったものが実現します。
いにしえの「蒲芯・御形・よし」は、
自然と我々になじみのある
空気をおくってくれる昔ながらの優しい簾です。

ES-62 / 固定式

ES-61 / 蒲芯
※旧 ES-601



ES-62 / 御形
※旧 ES-602



ES-64 / よし
※旧 ES-604

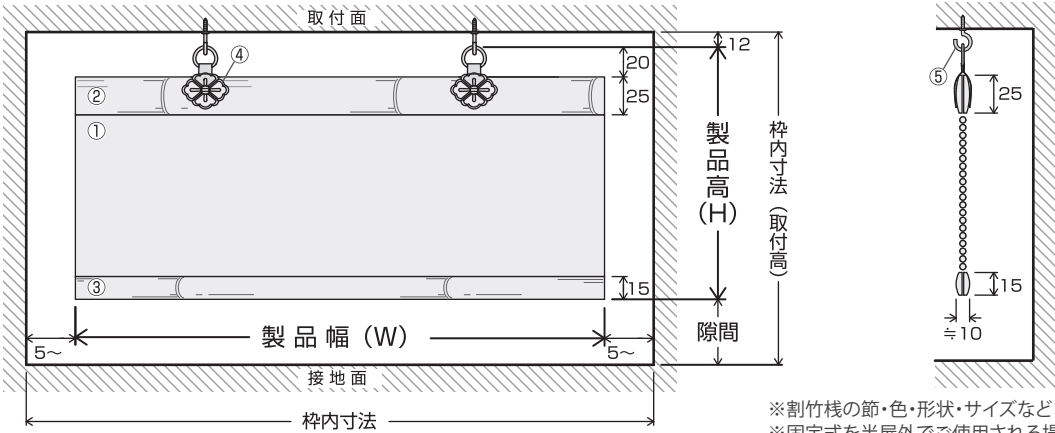


固定式 マニュアル ①

仕様と構造-①

■割竹棧（柿渋マル・蒲芯・御形・よし・木すだれ）

割った竹を2枚合わせた割竹棧に、すだれを織り上げた織糸を結んだスタイル

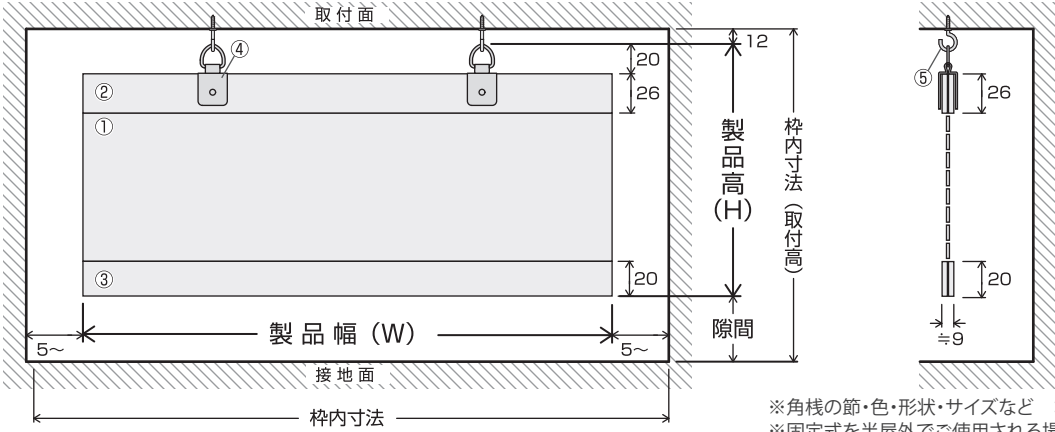


※割竹棧の節・色・形状・サイズなど:品番・個体差によって異なります。
※固定式を半屋外でご使用される場合:ES-62、64、31をおすすめします。

- ①生地
- ②割竹棧:上部
- ③割竹棧:下部
- ④吊金具:花菱(はなびし)
- ⑤取付金具:※図は洋灯吊使用例

■角棧（べんがら・柿渋カク・焼杉）

製材した木製の棧に、すだれを織り上げた織糸を結んだスタイル



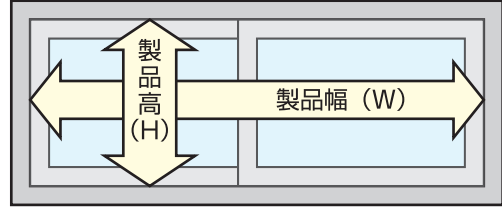
※角棧の節・色・形状・サイズなど :品番・個体差によって異なります。
※固定式を半屋外でご使用される場合:ES-62、64、31をおすすめします。

- ①生地
- ②角棧:上部
- ③角棧:下部
- ④吊金具:カクワ
- ⑤取付金具:※図は洋灯吊使用例

固定式 マニュアル ②

採寸方法 / 取付金具

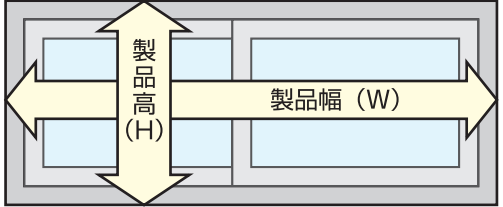
■枠内に取付する場合



①製品幅(W)=枠内幅－隙間寸法(10～20mm以上)

②製品高(H)=枠内高－取付金具のH寸法－隙間寸法

■枠外に取付する場合



①製品幅(W)=枠外幅(両端に壁面などの障害物がない場合)
※障害物がある場合は、障害物より片側5mm以上を差し引いてください。

②製品高(H)=枠外高－隙間寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

■製品高 (H) の隙間寸法の目安

取付高 (H)	隙間寸法	※左の表を参考に、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。
～1000	15mm以上	
～1500	20mm以上	
～2000	25mm以上	
～2400	30mm以上	

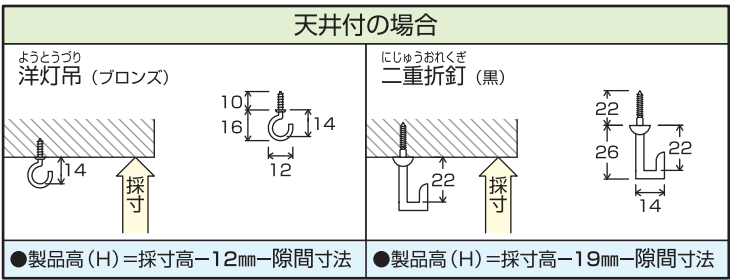
※取付金具の寸法は、取付方法の項目を参考にして、隙間寸法とは別に差し引いてください。

■製品高 (H) の計算方法

例) 取付高1800／洋灯吊／天井付の場合
●製品高 (H) = 1800 - 12 (洋灯吊) - 25 (隙間寸法) = 1763
※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

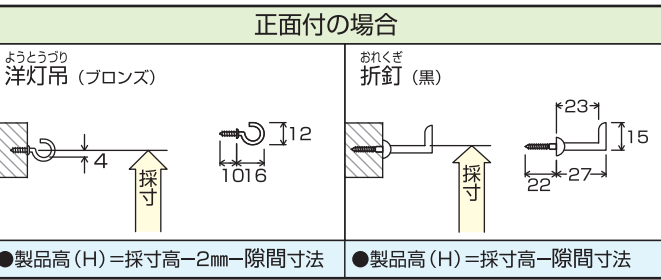
■採寸方法の注意点

- ①製作寸法の比率は、W:H=1:3が限度です。(1:3を超える場合、極端に幅が短い場合などは、変形などが発生する場合があります)
- ②連装される場合は、製品と製品の間は8～10mm以上の隙間を設けてください。
- ③丸鉤で巻き上げて使用されることが多い場合は、巻きズレした時を想定して10mm以上の隙間をおすすめします。
- ④製品高 (H) は、吊金具を含んだ寸法です。取付金具分は含んでおりません。ご注文の際には、必ず取付金具分を差し引いた寸法をご指示ください。
- ⑤本製品は、使用している素材の寸法が大きいため、製品高 (H) 寸法は、計算よりもマイナス方向に仕上がる場合があります。



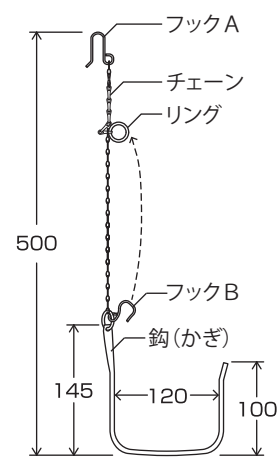
■取付時・取付金具の注意点

- ①洋灯吊・折釘・二重折釘は、下穴を軽く開けた後に最後まで直角に捻じ込んでください。無理に捻じ込むと折れる場合がありますので慎重に取付してください。
- ②取付金具は木下地用です。取付する箇所が荷重に耐えられるかどうかを十分に考慮してください。決して石膏ボードなどには使用しないでください。
- ③軒下などの場合、高所への取付は避けてください。また商品の取付位置は、商品が落下しても安全が確保できるかどうかを十分に検証してください。
- ④軒下などの場合、サビに強い金具・番線などをご用意ください。商品を確実に固定し、金具・取付場所・商品の劣化がないかの定期的な点検を実施してください。



オプション金具 丸鉤(まるかぎ)

■詳細図



■セット図



取付方法: 上部の棧に、フックAを挟みます。
巻上方法: 生地を下部から丁寧に巻上げ、丸鉤に乗せます。フックBを使用すると若干の調整が可能です。
※丸鉤1個では安定性がないため、1台につき、丸鉤を2個をご使用ください。
※巻径がφ120をよりも大きい場合は使用できません。 / ※室内用としてお考えください。

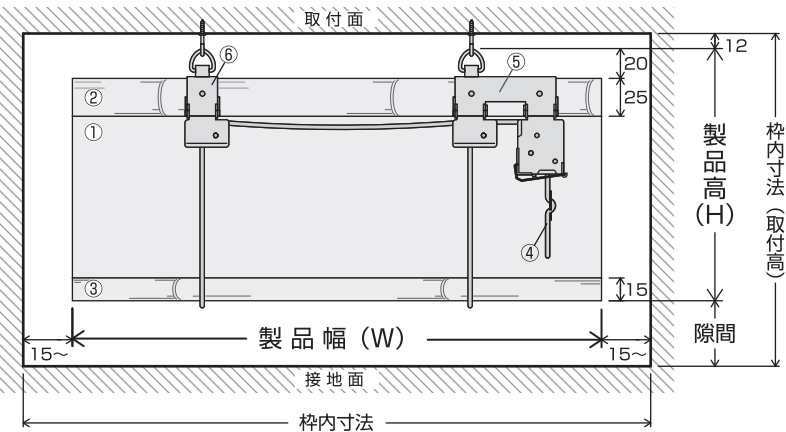
巻上式 マニュアル①

仕様と構造-①

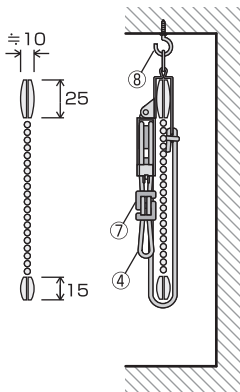
■割竹棧（柿渋マル・蒲芯・御形・よし・木すだれ）

割った竹を2枚合わせた割竹棧に、すだれを織り上げた織糸を結んだスタイル

※図は右操作です。



- ①生地
- ②割竹棧:上部
- ③割竹棧:下部
- ④操作コード
- ⑤吊金具:コードロック・プリー一体式金具
- ⑥吊金具:コードプリー金具
- ⑦S字タッセル
- ⑧取付金具:※図は洋灯吊使用例

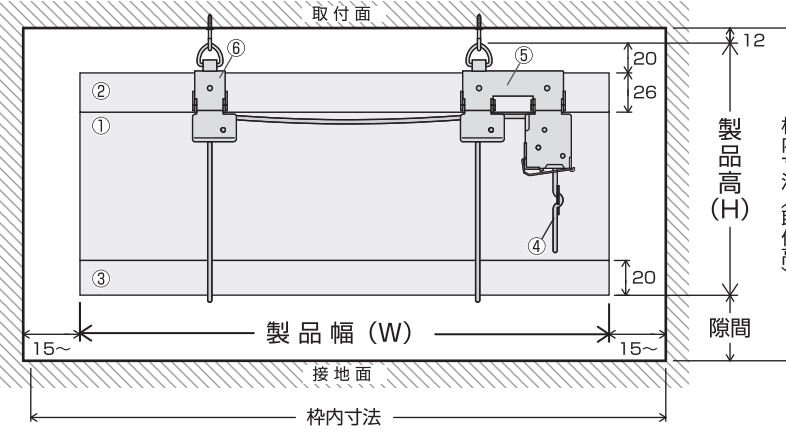


※割竹棧の節・色・形状・サイズなど:品番・個体差によって異なります。
※巻上式は、操作に支障をきたす場合がありますので室内用となります。

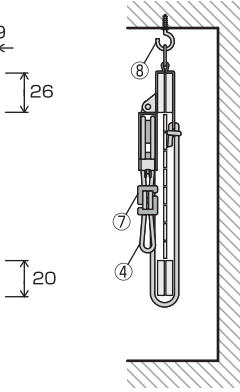
■角棧（べんがら・柿渋カク・焼杉）

製材した木製の棧に、すだれを織り上げた織糸を結んだスタイル

※図は右操作です。



- ①生地
- ②角棧:上部
- ③角棧:下部
- ④操作コード
- ⑤吊金具:コードロック・プリー一体式金具
- ⑥吊金具:コードプリー金具
- ⑦S字タッセル
- ⑧取付金具:※図は洋灯吊使用例

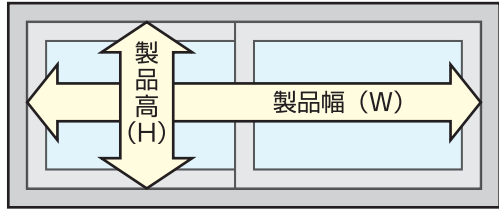


※角棧の節・色・形状・サイズなど:品番・個体差によって異なります。
※巻上式は、操作に支障をきたす場合がありますので室内用となります。

巻上式 マニュアル②

採寸方法 / 取付方法 / 取付金具

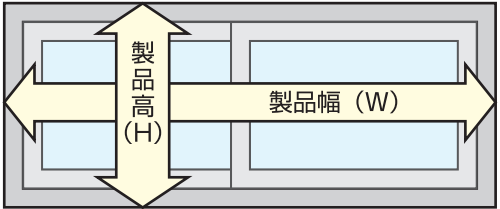
■枠内に取付する場合



①製品幅(W)＝枠内幅－隙間寸法(30mm以上)

②製品高(H)＝枠内高－取付金具のH寸法－隙間寸法

■枠外に取付する場合



①製品幅(W)＝枠外幅(両端に壁面などの障害物がない場合)
※障害物がある場合は、障害物より片側15mm以上を差し引いてください。

②製品高(H)＝枠外高－隙間寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

■製品高 (H) の隙間寸法の目安

取付高 (H)	隙間寸法	※左の表を参考に、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。
～1000	15mm以上	
～1500	20mm以上	
～2000	25mm以上	※取付金具の寸法は、取付方法の項目を参考にして、隙間寸法とは別に差し引いてください。
～2400	30mm以上	

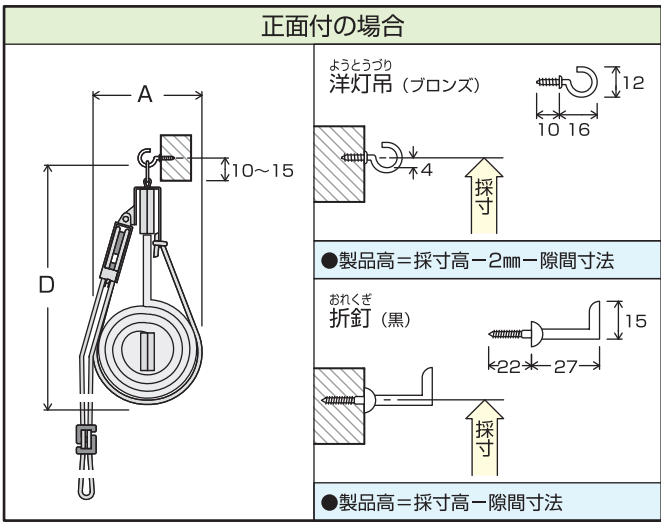
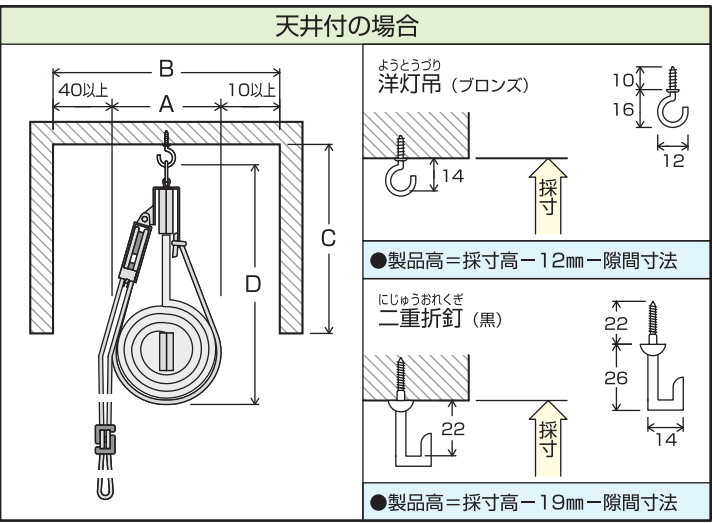
■製品高 (H) の計算方法

例) 取付高1800／洋灯吊／天井付の場合
●製品高(H)＝1800－12(洋灯吊)－25(隙間寸法)＝1763

※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

■採寸方法の注意点

- ①製作寸法の比率は、W：H＝1：3が限度です。(1：3を超える場合、極端に幅が短い場合などは、変形などが発生する場合があります)
- ②取付位置が高い場合は、操作に支障をきたす場合があります。
- ③連装される場合は、製品と製品の間は30mm以上の隙間を設けてください。
- ④外枠に取付する場合、昇降時に簾生地が枠などに接触したくない場合は、＜枠内に取付する場合＞と同じ要領で計算してください。
- ⑤製品高(H)は、吊金具を含んだ寸法です。取付金具分は含んでおりません。ご注文の際には、必ず取付金具分を差し引いた寸法をご指示ください。
- ⑥本製品は使用している素材の寸法が大きいため、製品高(H)寸法は、計算よりもマイナス方向に仕上がる場合があります。



■ボックス寸法の目安

A：巻きの直径	=	巻きの直径(A) 目安表を参照
B：ボックスの奥行き	=	A+50mm以上
C：ボックスの高さ	=	洋灯吊の場合 → ～160mm程度を推奨 二重折釘の場合 → ～170mm程度を推奨
D：巻き上げ時の製品高(H)	=	A+120mm

※C寸法を深くすると、操作時に操作コード・コードロックがボックスに、接触する場合がありますのでご注意ください。

■巻径(A)の目安表

名称：品番		べんがら:ES-11 :ES-12 :ES-13 柿 渋:ES-20 焼 杉:ES-31	木すだれ:ES-25 ES-26 柿 渋:ES-21	蒲 芯:ES-61 御 形:ES-62 よ し:ES-64
H	～ 900	70	75	100
	～1200	95	95	130
	～1500	105	105	140
	～1800	115	115	150
	～2100	125	125	155
	～2400	130	130	160

■取付時・取付金具の注意点

- ①洋灯吊・折釘・二重折釘は、下穴を軽く開けた後に最後まで直角に捻じ込んでください。無理に捻じ込むと折れる場合がありますので慎重に取付してください。
- ②取付金具は木下地用です。取付する箇所が荷重に耐えられるかどうかを十分に考慮してください。決して石膏ボードなどには使用しないでください。

